

研究課題番号	4G-2001
研究課題名	イノシシの個体数密度およびCSF感染状況の簡易モニタリング手法の開発
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	兵庫県立大学
研究代表者名	横山 真弓

## 1. 委員の指摘及び提言概要

本研究では、CSF感染を含むイノシシ問題への対応の効果的促進に資する多くの研究成果をあげたと評価できる。技術実証型の課題として、社会実装を強く意識して研究が進められた。環境水から効率的にCSFウイルスを検出する手法は環境DNAの実践的利用のモデルにもなる成果である。これまであまり進んでこなかったイノシシの生物学的研究が進捗したと考えられる。特に個体数推定法にある程度の見通しをつけた。また、「地域協働型野生動物管理OODAループ」の構築など、地域に密着した取り組みを実施したことは高く評価される。研究の成果が行政に活用されるように引き続き貢献されることを期待する。

## 2. 採点結果

評価ランク：S